

長中だより

平成27年10月6日
第39号
伊豆の国市立長岡中学校

文責 松下八十二

感動的なかつらぎ祭体育の部から2週間が過ぎ、今週の金曜日にはいよいよ文化の部が行われます。体育の部で勝てずに悔しい思いをしたクラスは、「今度こそは」というリベンジの気持ちで、体育の部で勝ったクラスは「今度も負けないぞ」という気持ちをもって、朝と帰りの練習に励んでいます。朝と帰りは、職員室にいても学校中から歌声が聞こえてきます。聞こえてくる歌声も、合唱の本番に合わせるかのように、どのクラスもまとまってきています。

今週の金曜日に行われる文化の部の合唱に向け、各クラスの指揮者と伴奏者から意気込みをうかがいましたので紹介します。ただし、3年生はパートリーダーの声も紹介します。

3年1組 曲：むぎや

【曲紹介】

長い冬が終わり、雪が溶け春の訪れを喜んでいる歌です。1組らしい、元気で楽しい曲になっています。1組にしか歌えない『むぎや』にします。

【指揮者：鈴木 雅さん】

3-1が歌う「むぎや」は、テンポがよく私たちにぴったりな曲です。練習をして、みんなをしっかりとまとめたいです。そして、3-1にしか歌えない「むぎや」を完成させたいです。僕が金賞に導きます。

【伴奏者：鈴木 晴子さん】

歌がきれいに引き立つような伴奏ができるよう、全力で頑張ります。そして、金賞を取れるよう少ない時間を大切に練習していきたいです。

【パートリーダー(テノール)：武 玲史郎さん】

「むぎや」は難しい曲ですが、毎日練習をしてうまくなり、金賞を取れるように頑張りたいです。

【パートリーダー(バス)：大倉野 奨太さん】

パートリーダーとして、バスのみんなをまとめてよい合唱にしたいです。みんなで、絶対に金賞を獲りたいです。

【パートリーダー(ソプラノ)：長澤 玲希さん、望月彩伊花さん】

私たちはパートリーダーとして、ソプラノを引っ張っていきたいです。強弱をはっきりさせ、なめらかなところはなめらかに、むぎやは明るい曲なので盛り上げる「ジャントコイ」をはっきりと明るい雰囲気です。絶対金賞を取ります。

【パートリーダー(アルト)：島澤 彼海さん、加藤 優奈さん】

アルトは音をとるのが大変ですが、他のパートとしっかりハーモニーがつかれるようにします。音をとるのが難しいパートなのでみんなで確認し合ってたくさん練習して、最高の合唱をつくりたいと思います。

【イメージ画：長澤 玲希さん、水口 歩美さん】

「むぎや」は長い冬が終わり、春が来たことを喜ぶ歌なので、桜や麦など春らしさを出しました。歌詞にある「雪人形」が背景の山に描いてあるところに注目してください。



3年2組 曲：木琴

【曲紹介】

木琴は、戦争で死んだ妹に対する歌です。妹は木琴を毎日のようにひいていました。しかし、その音色はある日をきっかけに二度と聞くことができない音色となりました。世間の人には、妹が死んだことは知りません。でも、私だけは覚えています。ずっと、ずっと……。妹の木琴が聞こ

えてくるような静かな歌声、そして、後からやってくる強い歌声。3年2組だけにしか歌うことのできない木琴にぜひ注目してください。

【指揮者：鍵山 朝輝さん】

僕は、クラス合唱の指揮者として、指揮の強いところは強く、弱いところは弱くと、強弱のある指揮にして、金賞を目指します。

【伴奏者：濱田 雪乃さん】

私たち3年2組の合唱曲は「木琴」です。歌いやすい伴奏を心がけ、強弱をよりはっきりさせ「木琴」という世界をつくりだします。金賞へと導くことのできる伴奏にします。

【パートリーダー(テノール)：八木 英二さん、山崎 拓実さん】

2組のテノールのパートリーダーとして、みんなを引っ張って学年で一番のテノールを目指したいと思います。そして、金賞を取りに全力で頑張ります。

【パートリーダー(ソプラノ)：加藤 未来さん、白井 天梓さん】

3年2組のクラス合唱である木琴に、強弱が激しく音域の広い曲です。そのため、普段からの練習で声量、UP、音程の安定さに力を入れて取り組んでいきたいです。3年2組の木琴を響かせて脇園先生に金賞をあげたいです。

【パートリーダー(アルト)：青山 堇さん、古屋 愛梨さん】

最後の文化の部なので、金賞をとれるように、パートリーダーとしてみんなを引っ張りたくたいです。強弱を意識して迫力のある合唱にしたいです。

【イメージ画：滝口 稚菜さん】

「木琴」は、戦争への怒りや命が失われていく悲しみなど、いろいろ感情をもった歌なので、表現するのが難しいけれど頑張りたいです。



3年3組 曲：ひめゆりの塔

【曲紹介】

1945年4月、第二次世界大戦の沖縄戦が始まりました。多くの犠牲者が出た沖縄戦。その中にはひめゆり学徒隊の生徒たちも多数いました。ひめゆり学徒隊を弔うための石碑をひめゆりの塔といいます。沖縄戦の悲劇が二度と起きないことを祈って歌います。

【指揮者：吉田 稔生さん】

僕の指揮で3年3組で歌う「ひめゆりの塔」をつくる。

【伴奏者：瀬崎 笑里さん】

3年3組は今、一人一人がバラバラで、練習もあまりよい内容のものではありませんが、パートリーダーや指揮者と共に、思いを1つに完成度の高い合唱をつくりたいです。目指せ金賞！

【パートリーダー(テノール)：黒田明日斗さん、勝呂 祐さん】

体育の部で魅せた3組の団結力を合唱でも発揮できるように頑張ります。僕たちを中心に、金賞を狙います！

【パートリーダー(ソプラノ)：瀬崎 笑里さん、大村 愛麗さん】

まだまだ、クラスのまとまり感がなく、賞を取れるかもわからないまま時間だけが過ぎていきます。クラスみんなを引っ張って金賞を取れるよう、精一杯頑張っていこうと思います。

【パートリーダー(アルト)：片山 智豊さん、高木 麻吏さん】

私たちのクラスは、初めてパートリーダーになった人がいます。しかし、そんなことを感じさせないくらいにアルトの存在感を出せるように私たちが引っ張ります。きれいな歌声を響かせ、金賞を取る！

【イメージ画：大竹 理恵さん】

「ひめゆりの塔」は、戦争の歌ですが平和を願う歌でもあるので、曲のイメージを崩さないよう、暗い雰囲気のと明るい雰囲気の所をしっかりと歌い分けたいです。

